

# トキタ種苗大利根研究所オープンデー2014 in 埼玉県加須市

2014.11.13

日本を代表する種苗会社の一つ、トキタ種苗株式会社。その研究や日頃の成果を披露する恒例のオープンデーが11月13日～14日の2日間、大利根研究所で開かれ、山下ようこは、初日の13日にお邪魔しました。



JR宇都宮線の栗橋駅下車、ここから会場まではシャトルバスで移動。



会場に到着!!



ゲートをくぐり、まず目に飛び込んでくるのは、同社の開発したピオラ、シャングリラシリーズのガーデン。そしてジャガイモの試食コーナー。試食コーナーは、このほか、イタリア野菜のスープや茎の長いカリフラワーのカリフローレを茹でたもの等、いろいろ。おいしくいただきました

入口近くの苗テラスにて。トマトと花(ダイアンサス)を組み合わせた寄せ植え。これからの時代は野菜と花が共存するガーデンが、特に家庭園芸では理想なのではないかと感じました



この方式を考案したトキタ種苗の高橋黄穂美さん



続いてハウスへ。案内してくださったのは同社の海外戦略を担当する張紹風さん。ズッキーニが栽培されています。



こちらはフルーツのような甘さと香りのカラーピーマン、プチピー。



こちらはイチゴのような形のミニトマト、トマトベリー。ハート形とも言えますね。



カボチャコーナーの説明は、自らカボチャの新品種を開発し続けるこの人、吉岡欣次郎さん。



こちらは圃場。トキタ自慢の野菜の品種の数々。まずはキャベツ。



こちらはブロッコリー。



ネギ



コマツナ。夏の甲子園とは、ネーミングが斬新。栽培・収穫時期によって命名されており、春のセンバツという品種もありますよ。



目を引く大きな幟旗。おでん太郎は同社が開発したダイコンの最新品種。直径が7cm程度、軟らかいの煮崩れしにくいので、おでんにぴったり!!これからの寒い時期、大活躍しそうです。



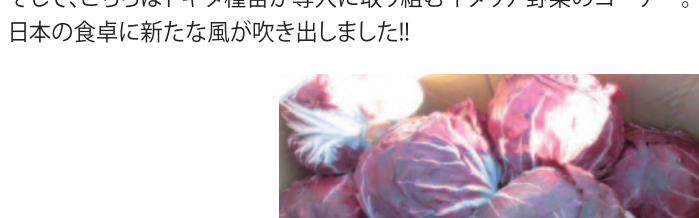
こちらは甘いトウモロコシ、ミルクスイーツのコーナー。山下ようこも試食しました。おいしい!!写真は、その生みの親、育種・開発を担当した関口祥平さん。



そして、こちらはトキタ種苗が導入に取り組むイタリア野菜のコーナー。日本の食卓に新たな風が吹き出しました!!



イタリア野菜の担当は、この人、福寿拓哉さん。



こちらはラディッキオという野菜。丸い形はキオツジャ、縦長のほうはトレヴィアツ。



まるで海の中のサンゴのような形のカリフラワー、ダ・ヴァンチ。



最後に時田勉会長と撮影。

「日本の農業へトキタの提案」という副題のついたオープンデー。日本の農業や国民の食生活向上のための同社の妥協なき取り組み、その志の高さ。それを実感する有意義な晩秋の一日でした。関係者の皆様、ありがとうございました。